

科目	単位	時間	履修学年	講師名
解剖生理学 I	1	30	1	
ねらい	体の発生と構造、生命現象の機能について学ぶ。 (人体の構成、細胞や組織の構造と機能、ホメオスタシス)			
回数	授業内容			
1回目	【人体の発生と構造】 (15時間) 1. 人体の構造と区分と細胞の構造 (核、細胞小器官と細胞骨格)			講義
2回目	2. ① 細胞を構成する物質とエネルギーの生成 (核酸とタンパク質の合成) ② 細胞膜の構造と機能			講義
3回目	3. 細胞の増殖と染色体 ① 染色体 ② 体細胞分裂と減数分裂			講義
4回目	4. 組織の種類、分布、機能 ① 上皮組織 ② 支持組織			講義
5回目	③ 筋組織 ④ 神経組織			講義
6回目	5. 機能からみた人体とホメオスタシス ① 生命維持システム、運動、調節システム			講義
7回目	6. ホメオスタシス ① 自律神経 ② ホルモン ③ 免疫			講義
15回目(45分)	終講試験			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学(医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] 50点+50点)			

科目	単位	時間	履修学年	講師名
解剖生理学 I	1	30	1	
ねらい	消化器系の臓器の位置、名称、構造と機能を理解し各系統の障害を学ぶ基礎とする。			
回数	授業内容			講義
1回目 ～ 8回目 (8回目は45分)	【消化器】 (15時間) 1. 総論 1) 消化とは 2) 消化器系 3) 消化器の機能 2. 各論 1) 消化器壁の基本構造 2) 口腔 3) 咽頭 4) 食道 5) 胃 6) 十二指腸 7) 膵臓 8) 肝臓 9) 胆道系 10) 小腸 11) 大腸 12) 直腸 13) 胃・十二指腸における消化 14) 空腸・回腸における消化 15) 結腸の機能 16) 直腸・肛門の機能・排便調節機能 17) 腹部臓器の血流支配 18) 脾臓 19) 腹膜と後腹膜			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] 50点+50点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学 年	講師名
解剖生理学Ⅱ	1	30	1	
ねらい	呼吸器系、循環器系、血液リンパ造血器系の臓器の位置、名称、構造と機能を理解し各系統の障害を学ぶ基礎とする。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	【呼吸器】 (10時間) 1. 呼吸器の構造			講義
2回目	2. 呼吸器の機能 1) 呼吸器と血液の働き			講義
3回目	2) ガス交換とガスの運搬			講義
4回目	3) 呼吸運動の調節			講義
5回目	4) 呼吸器系の病態生理			講義
1回目	【循環器】 (10時間) 1. 心臓の構造			講義
2回目	2. 全身の血管系			講義
3回目	3. 心臓の機能			講義
4回目	4. 血液の循環			講義
5回目	5. リンパ系・心電図			講義
1回目	【血液・リンパ・造血器】 (9時間) 1. 血液の組成と機能			講義
2回目	2. 血液細胞の種類と機能			講義
3回目	3. 血漿タンパク質と抗体の機能			講義
4回目	4. 血液型			講義
14.5回目(45分)	5. 主要組織適合抗原			講義
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] : 33点+34点+33点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
解剖生理学Ⅲ	1	30	1	
ねらい	腎泌尿器系、女性生殖器系、内分泌器系、感覚器系の臓器の位置、名称、構造と機能を理解し各系統の障害を学ぶ基礎とする。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	【腎・泌尿器】(8時間) 1. 腎臓 1) 腎臓・糸球体・尿細管構造と機能			講義
2回目	2) 傍糸球体装置 3) クリアランスと糸球体濾過量			講義
3回目	4) 腎臓からの分泌される生理 2. 排尿路 1) 排尿路の構造 2) 尿の貯蔵と排尿			講義
4回目	3. 体液の調節 1) 水の出納・脱水 2) 尿の成分と性状と尿の異常			講義
1回目	【女性生殖器】(4時間)			講義
2回目	1. 女性生殖器の構造と機能			講義
1回目	【内分泌】(7時間)			講義
2回目	1. 全身の内分泌腺と内分泌細胞			講義
3回目	2. ホルモン分泌の調節			講義
3.5回目 (45分)	3. ホルモン調節の実際			講義
1~2回目	【感覚器】・耳鼻科・眼科・皮膚科 1. 耳鼻科：(4時間) 第8章H・I 1) 耳の構造と聴覚・平衡覚 2) 味覚と嗅覚 3) 口腔・咽頭 4) 鼻・喉頭・発声と構音			講義
1~1.5回目 (45分)	2. 眼科：(3時間) 第8章G 1) 目の構造と視覚			講義
1~1.5回目 (45分)	3. 皮膚科：(3時間) 第9章 1) 皮膚の構造と機能 2) 体温とその調節			講義
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学(医学書院)			
評価方法	筆記試験(1時間 [45分間] : 27点+13点+27点+13点+10点+10点)			

科目	単位	時間	履修学年	講師名
解剖生理学Ⅳ	1	30	1	
ねらい	脳神経系、運動器系の位置、名称、構造と機能を理解し各系統の障害を学ぶ基礎とする。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	【脳神経】(15時間) 第6章 1. 自律神経による調節	講義		
2回目	1) 自律神経の機能	講義		
3回目	2) 自律神経の構造 3) 自律神経の神経伝達物質と受容体	講義		
4回目	2. 情報の受容と処理 第8章A~E	講義		
5回目	1) 神経系の構造と機能	講義		
6回目	2) 脊髄と脳	講義		
7回目	3) 脊髄神経と脳神経	講義		
7.5回目 (45分)	4) 脳の高次機能 5) 運動機能と下行(遠心)伝導路 6)	講義		
1回目	【骨格・筋肉・運動器】(14時間) 1. からだの支持と運動 第7章	講義		
2回目	1) 骨格とはどのようなものか			
3回目	2) 骨の連結	講義		
4回目	3) 骨格筋	講義		
5回目	4) 体幹の骨格と筋	講義		
6回目	5) 上肢の骨格と筋 6) 下肢の骨格と筋 7) 頭頸部の骨格と筋 8) 筋の収縮	講義		
7回目	2. 体表からみた人体の構造 第11章 1) 体表から触知できる骨格部分 2) 体表から触知できる大きな筋 3) 体表から触知できる動脈 4) 体表から到達できる静脈	講義		
15回目(45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験(1時間 [45分間] : 100点) : 50点+50点			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護解剖生理学	1	15	1	
ねらい	解剖生理学に興味・関心を持てるよう、看護に関連した主要な解剖生理学の理解を深める。			
回数	授業内容			
1回目	1. 息をする～呼吸の仕組み 呼吸器の解剖生理			講義・演習
2回目	2. 生きる～生命維持の原動力 循環器の解剖生理			講義
3回目	3. 食べる～食行動と消化・吸収 消化器の解剖生理 出す～排泄行動 腎・泌尿器・代謝系の解剖生理			講義・演習
4回目	4. 動く～運動の仕組み 運動器の解剖生理 5. お風呂に入る～清潔行動 眠る～身体のリズム			講義・演習 講義
5回目	6. 見る・話す-聞く・におう・味わう・痛む～感覚の仕組み 産み育てる～種族の維持 生殖器の解剖生理			講義
6回目	7. 何のための生活行動か～恒常性維持のための流通と調節機構			講義
7回目	・体液の分類と量 ・体液の電解質 ・血漿のPH ・動脈血の酸素分圧 ・血漿の糖分 ・体温			
7.5回目 (45分)	終講試験			
教科書	看護につながる解剖生理 小寺豊彦 照林社 (参考図書：看護形態機能学 菱沼典子 日本看護協会出版会)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] :100点)			

科目	単位	時間	履修学年	講師名
生化学	1	15	1	
ねらい	人間の生命現象を科学的に理解するために、人体の構成成分である化学物質の性状やその分布、代謝について学ぶ。			
回数	授業内容			
1回目	1) 生化学を学ぶための基礎知識 元素, 生体分子と構造, 酸と塩基, 細胞の構造と機能			講義
2回目	2) 糖質と糖質代謝 糖質とは, 糖質の種類, グルコース代謝を中心に			講義
3回目	3) 脂質と脂質代謝 脂質とは, 脂質の種類, 構造, 役割, 脂肪代謝を中心に			講義
4回目	4) タンパク質とタンパク質代謝 タンパク質とは, タンパク質の構造と分類, タンパク質の消化と吸収, アミノ酸代謝と尿素の生成			講義
5回目	5) 核酸と核酸代謝 核酸とは, 塩基, DNA と RNA の構造と役割 核酸代謝 (合成と分解)			講義
6回目	6) ポルフィリン代謝 ポルフィリンとは, ヘムの生合成と分解 ヘモグロビンの合成と分解, ビリルビンの生成			講義
7回目	7) ホルモンと生理活性物質 ホルモンとは, ホルモンの種類及び作用機序			講義
7.5回目 (45分)	終講試験 (45分)			試験
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能② 生化学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]: 100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
栄養学	1	15	1	
ねらい	<p>生命の維持、成長、臓器、組織の正常な機能の維持、エネルギーの生産のために必要な栄養素とその適正量と、適正量の合理的な摂取方法と健康の回復について学ぶ。また、栄養指導のための基礎を身につける。</p>			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 栄養素の種類と働き			講義
2回目	1) 糖質 2) 脂質 3) タンパク質 4) ビタミン			講義
3回目	5) ミネラル 6) 食物繊維 7) 水			
3回目	2. 栄養状態の評価・判定			講義
4回目	3. ライフステージと栄養ケア・マネジメント			講義
	1) 乳幼児			
	2) 幼児期			
	3) 学童期			
	4) 思春期・青年期			
	5) 成人期			
5回目	6) 妊娠期・授乳期			講義
	7) 更年期			
	8) 高齢期			
6回目	4. 臨床栄養			講義
7回目	1) 病院食の種類			講義
	2) 疾患別食事療法の実際			
	3) チームで取り組む栄養管理・栄養補給法			
7.5回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能③ 栄養学 (医学書院)</p>			
評価方法	<p>筆記試験 (1時間 [45分間] : 100点)</p>			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態総論	1	15	1	
ねらい	疾病の本体である炎症、腫瘍、感染症、奇形等の病因と病変の特徴について学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 病理学総論	講義		
	2. 病理学で学ぶこと			
2回目	3. 先天異常と遺伝子異常	講義		
3回目	4. 代謝障害	講義		
4回目	5. 循環障害	講義		
5回目	6. 炎症と免疫、膠原病	講義		
6回目	7. 腫瘍 診断と告知	講義		
7回目	8. 老化と死	講義		
7.5回目 (45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] : 100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論 I	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、呼吸器、循環器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	【呼吸器】(14時間) 1. 症状とその病態生理(喀痰、血痰、喀血、咳嗽、胸痛、呼吸困難、他覚症状) 2. 検査と治療・処置(血液検査、喀痰検査、胸水検査、画像診断、内視鏡検査、生検、呼吸機能検査、睡眠時モニタリング、吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、呼吸理学療法、気道確保、胸腔ドレナージ) 3. 疾患の理解 1) かぜと急性気管支炎、インフルエンザ、肺炎、結核 2) 間質性疾患、気道疾患、肺血栓塞栓症、呼吸不全、呼吸調節に関する疾患 3) 肺腫瘍、肺・肺血管の形成異常、胸膜・縦隔・横隔膜の疾患、肺移植、胸部外傷 4. 呼吸器外科(開胸術、胸腔鏡手術)	講義		
2回目		講義		
3回目		講義		
4回目		講義		
5回目		講義		
6回目		講義		
7回目		講義		
1回目	【循環器】(15時間) 1. オリエンテーション・グループ決め・テーマ割り振り 2. 循環器総論・第3回の発表準備 3. 発表：狭心症・心筋梗塞、質問、第4回の発表準備 4. 発表：心不全、質問、第5回の発表準備 5. 発表：高血圧、質問、第6回の発表準備 6. 発表：心臓弁膜症・心筋症など、質問、第7回の発表準備 7. 循環器総論、発表：不整脈、質問 8. 血管疾患、総括、試験について 終講試験(45分)	講義・演習		
2回目		講義・演習		
3回目		講義・演習		
4回目		講義・演習		
5回目		講義・演習		
6回目		講義・演習		
7回目		講義・演習		
7.5回目		講義		
15回目(45分)	試験			
教科書	系統看護学講座 専門分野II (医学書院) : 成人看護学②呼吸器 : 成人看護学③循環器			
評価方法	筆記試験(1時間 [45分間] : 100点) : 50点+50点			
備考	~発表形式 Power point、Word、模造紙(5枚以上)。いずれも内容に沿ったレジメを作ること			

科目	単位	時間	履修 学年	講師名
病態治療各論 II	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、消化器、感覚器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			
1回目	【消化器内科】 (13時間)			講義
2回目	1. 症候論、処置、治療			講義
3回目	2. 1) 検査(CTまで)、			
4回目	2) 検査(MRI)			
5回目	3. 疾患の理解			講義
6回目	1) 食道疾患、胃疾患			講義
7回目 (45分)	2) 腸疾患			講義
	3) 肝臓・胆嚢・胆管の疾患			講義
	4) 肝臓、膵臓の疾患			講義
1回目	【消化器外科】 (5時間)			
2回目	外科的療法			
3.5回目 (45分)	1)食道がん(食道切除術・再建法) 2) 胃がん(胃切除術・胃全摘術)			講義
	3)大腸がん(右半切除術・左半切除術・S状結腸切除術・低位前方切除術・マイルズ術・ハルトマン術)			講義
	4)肝臓がん(肝切除術) 5)膵臓がん(膵頭十二指腸切除術)			講義
1回目	【感覚器】耳鼻科 4時間:			講義
2回目	1. 耳鼻科疾患の症状とその病態生理			
	1) 耳(難聴、耳鳴、耳閉塞感、眩暈、耳漏、耳痛、顔面神経痛)			
	2) 鼻(鼻閉、くしゃみ、嗅覚障害、鼻声、鼻漏、鼻出血、鼻痛、神経症状)			
	3) 咽頭(咽頭痛、呼吸障害、嚥下障害、知覚異常)			
	4) 喉頭(音声・言語障害、呼吸障害、せき・喀たん、嚥下障害)			
	2. 検査と治療(聴力検査、平衡機能検査、副鼻腔検査、 耳管通気検査、内視鏡検査、嗅覚検査、味覚検査、画像検査) (耳の処置、鼻の処置、咽喉頭の処置、手術療法)			講義
教科書	系統看護学講座 専門分野II (医学書院) : 成人看護学⑤消化器 : 成人看護学⑭耳鼻咽喉 : 成人看護学⑫皮膚 : 成人看護学⑬眼			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]) : 40点+20点+14点+13点+13点			

科目	単位	時間	履修 学年	講師名
病態治療各論 II	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、消化器、感覚器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			
1回目	【感覚器】眼科 4 時間： 1. 眼科疾患の症状とその病態生理 2) 視機能に関連した症状（視力障害、視野異常、色覚異常、夜盲、眼精疲労等） 2) 視機能に関連しない症状（充血、流涙、眼脂、羞明、異物感、搔痒感等） 3) 検査と治療（視力、屈折、開瞼、細隙灯顕微鏡、眼底、眼圧、瞳孔等）（点眼、洗眼、眼帯、注射、ブジー、光凝固、屈折矯正、義眼、麻酔等） 4) 疾患の理解（屈折の異常、眼瞼、結膜、涙器、角膜、強膜、ぶどう膜、眼底、水晶体、硝子体、緑内障、眼球・眼窩、視神経、外傷等） 5) 手術（白内障、緑内障、網膜剥離、硝子体、斜視、角膜移植、眼球摘出） 6) 疾患の理解（耳疾患、鼻疾患、咽喉頭疾患、気道・食道・頸部疾患）			講義
2回目				講義
1回目				講義
2回目(45分)				講義
15回目				試験
				終講試験
教科書	系統看護学講座 専門分野II (医学書院) : 成人看護学⑤消化器 : 成人看護学⑭耳鼻咽喉 : 成人看護学⑫皮膚 : 成人看護学⑬眼			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間]) :40点+20点+14点+13点+13点			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論 III	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、腎・泌尿器系、生殖器系、乳腺疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			
1回目	【腎臓疾患】 (12時間) 1. 腎臓の症状とその病態生理 1) 尿・排尿の異常 (乏尿、無尿、多尿、尿混濁、血尿、膿尿、乳び尿、タンパク尿、尿糖) 2) 水と電解質の異常 (浮腫、脱水、酸塩基平衡の障害)			講義
2回目	3) 循環器系の異常 (高血圧、うっ血性心不全、尿毒症性肺、尿毒症性心膜炎、不整脈)			講義
3回目	4) 血液の異常 (低たんぱく血症、脂質異常症、高窒素血症、貧血、尿毒症)			講義
4回目	2. 検査と治療・処置 (尿の検査、腎機能検査、腎生検、腎疾患の内科的治療の基本、透析療法、腹膜透析)			講義
5回目	3. 疾患の理解 (腎不全と慢性腎臓病、原発性糸球体腎炎、全身性疾患による腎障害、尿細管間質性腎炎、腎血管性病変、尿細管機能障害、妊娠高血圧症候群)			講義
5.5回目 (45分)				講義
1回目	【泌尿器系】 (10時間) 1. 泌尿器系疾患の症状とその病態生理 1) 排尿に関連した症状 (頻尿、尿意切迫感、過活動膀胱、尿失禁、遺尿症) (排尿困難、尿線細小、排尿力の減退、残尿感、急性尿閉、尿線の途絶) 2) 疼痛 (局所性、放散痛、腎性、尿管性、膀胱、前立腺、精巣、精巣上体)			講義
2回目	3) 腫脹・腫瘤 (腹部、陰嚢部、前立腺)			講義
3回目	4) 精巣および性機能障害			講義
	2. 検査 (尿の検査、X線撮影、超音波、画像診断、経尿道的操作・内視鏡検査、尿流動態検査、膀胱組織、精巣組織、前立腺組織、性生殖器の検査) と治療 (外科的療法、薬物療法、放射線療法) ・特有な処置			講義
教科書	系統看護学講座 専門分野II (医学書院) : 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 : 成人看護学⑨ 女性生殖器			
評価方法	筆記試験 (: 40点 + 35点 + 20点 + 5点)			

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論 IV	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、内分泌・代謝・造血系の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	【代謝】(6時間) 1. 糖尿病			講義
2回目	2. 糖尿病			講義
3回目	3. 脂質異常症、高尿酸血症			講義
1回目	【内分泌】(13時間) 1. 下垂体腫瘍			講義
2回目	2. 下垂体機能低下症、尿崩症			講義
3回目	3. 甲状腺疾患			講義
4回目	4. 副甲状腺			講義
5回目	5. 副腎疾患			講義
6回目	6. 膵臓内分泌腫瘍			講義
6.5回目(45分)	7. 内分泌検査			講義
1回目	【血液・造血・リンパ】(10時間) 1. 検査・診断と症候・病態生理(末梢血検査、骨髓穿刺、出血傾向の検査)			講義
2回目	(貧血、白血球増加症、白血球減少症、脾腫、リンパ節腫脹、出血性素因)			講義
3回目	2. 疾患と治療の理解			講義
4回目	1) 赤血球系の異常:鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血、二次性貧血			講義
5回目	2)造血器腫瘍:急性白血病、骨髓異型性症候群、慢性骨髄性白血病、骨髓増殖性腫瘍、慢性リンパ性白血病、成人 T 細胞白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫			講義
15回目(45分)	3)出血性疾患:紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群			試験
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ (医学書院) : 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 : 成人看護学④ 血液・造血器			
評価方法	筆記試験(1時間 [45分間] : 20点+45点+35点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論V	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、骨・運動器、アレルギー、膠原病、感染症疾患の主要症状、病態及び関連した検査治療について学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
	【骨・運動器】 (19 時間)			
1 回目	1. 総論、病態生理	第 3 章・第 4 章	講義	
2 回目	2. 総論、外傷、骨折、脱臼	第 5 章 P86～P110	講義	
3 回目	3. 神経、筋、腱・靭帯などの損傷	第 5 章 P110～P121	講義	
4 回目	4. 骨腫瘍	第 5 章 P143～P150	講義	
1 回目	5. 上肢及および上肢帯の疾患	第 5 章 P163～P165	講義	
2 回目	6. 下肢および下肢帯の疾患	第 5 章 P177～P181	講義	
1 回目	7. 脊椎の疾患	第 5 章 P166～P177	講義	
2 回目	8. 先天性疾患、代謝性疾患	第 5 章 P122～P129・P150～P155	講義	
3 回目	9. 炎症性疾患	第 5 章 P129～P143	講義	
3.5 回目 (45 分)	10. ロコモティブシンドローム	第 5 章 P181～P185	講義	
	【アレルギー・膠原病】 (10 時間)			
1 回目	1. 検査と治療・アレルギー疾患		講義	
2 回目	2. アレルギー疾患		講義	
3 回目	3. 膠原病総論		講義	
4 回目	4. 膠原病各論(疾患)・感染症総論		講義	
5 回目	5. 感染症各論(疾患)		講義	
15 回目(45 分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ (医学書院) : 成人看護学⑩運動器 : 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病 感染症			
評価方法	筆記試験 (1 時間 [45 分間] :65 点+35 点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論VI	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、脳・神経系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
	【脳疾患】 (19時間)			
1回目	出血性脳血管障害	*第5章(P122~P149)		講義
2回目	閉塞性脳血管障害			講義
3回目	脳腫瘍			講義
1回目	補助的診断法	*第4章		講義
2回目	閉塞性脳血管障害の治療			講義
3回目	出血性脳血管障害の治療			講義
1回目	頭部外傷、	*第3章と第5章(P153~P160)		講義
2回目	頭痛・高次脳機能障害・麻痺			講義
3回目	頭蓋内圧亢進・脳ヘルニア・水頭症			講義
3.5回目(45分)				講義
	【神経系疾患】 (10時間) *第5章B~F、H~I			
1回目	認知症			講義
2回目	神経変性疾患			講義
3回目	てんかん・感染症・筋疾患			講義
4回目	筋疾患・末梢神経障害			講義
5回目	末梢神経障害			講義
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] :100点=20点+20点+26点+34点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
微生物学	1	15	1	
ねらい	感染症や伝染病の要因として重要な、病原微生物の特徴と病原菌に対する生体防御機構、必要な予防・検査について学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 微生物界の概要 (Microbial World)	講義		
	2. 生命進化と微生物			
	3. 細菌の生物学的特性	講義		
	4. ウイルスの生物学的特性			
2回目	5. 感染に対する生体防御機構	講義		
3回目	6. 重要な細菌感染症-1 (検査・診断 含む)			
	7. 重要な細菌感染症-2	講義		
4回目	8. 重要なウイルス感染症-1			
	9. 重要なウイルス感染症-2 (検査・診断 含む)	講義		
5回目	10. 真菌・原虫の生物学的特性と感染症			
	11. マイコプラズマ、リケッチヤ、クラミジア感染症	講義		
6回目	12. 抗菌薬の基礎概念と感染症治療			
7回目	13. 滅菌と消毒	講義		
	14. 感染経路からみた感染症と予防対策			
	15. 復習	試験		
7.5回目 (45分)	終講試験			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進④ 微生物学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] :100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
薬理学	1	30	1	
ねらい	薬物治療について理解を深め、看護を実践するために必要な代表的な薬物の特徴、作用機序、副作用、薬物の取り扱いについて学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	1. 薬理学総論			講義
2回目	1) 薬理学とはなにか 2) 薬による病気の治療			講義
3回目	3) 薬が作用するしくみ (薬力学) 4) 薬の体内の挙動 (薬物動態学) 5) 薬物相互作用			講義
	6) 薬効の個人差に影響する因子 7) 薬物使用の有益性と危険性 8) 薬と法律			講義
1回目	2. 薬理学各論			講義
2回目	1) 抗感染症薬			講義
3回目	2) 抗がん薬			講義
4回目	3) 免疫治療薬			講義
5回目	4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬			講義
6回目	5) 末梢での神経活動に作用する薬物			講義
7回目	6) 中枢神経系に作用する薬物			講義
8回目	7) 心臓・血管系に作用する薬物			講義
9回目	8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物			講義
10回目	9) 物質代謝に作用する薬物			講義
	10) 皮膚科用薬・眼科用薬			講義
	11) 救急の際に使用される薬物			講義
	12) 漢方薬			講義
	13) 消毒薬			講義
11回目	14) 輸液製剤・輸血剤			講義
11.5回目 (45分)	まとめ (45分)			講義
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] : 合わせて100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
生活科学	1	30	1	
ねらい	健康で快適、安全で安心な生活を送るために必要な生活行動や生活環境、社会環境を学ぶ。また生活を営む上で適切な助言や指導ができるための知識を身につける。			
回数	授業内容		授業方法	
1回目	1. 導入		講義	
2回目	2. 生活とは何か		講義	
3回目	3. 生活と健康の管理（ライフコース、ストレス）		講義	
4回目	4. 生活と健康の管理（食生活、食の安全）		講義	
5回目	5. 生活をとらえる（生活時間）		講義	
6回目	6. 生活をとらえる（家計）		講義	
7回目	7. 個人・家族・社会の関係性の変化		講義	
8回目	8. 生活と福祉（社会保障制度）		講義	
9回目	9. 生活と福祉（社会保険）		講義	
10回目	10. 生活と福祉（社会扶助）		講義	
11回目	11. 生活を守る法（働く、家族）		講義	
12回目	12. 生活を守る法（暴力・虐待、人権）		講義	
13回目	13. 住生活		講義	
14回目	14. 衣生活		講義	
14.5回目 (45分)	15. 社会と健康		講義	
15回目 (45分)	終講試験		試験	
教科書				
評価方法	筆記試験（1時間 [45分間] : 100点） 課題提出			
備考				